

(43)

氏名(生年月日)	佐藤真奈美
本籍	
学位の種類	博士(医学)
学位授与の番号	乙第1389号
学位授与の日付	平成5年9月17日
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)
学位論文題目	脳血管障害患者の運動機能の回復と知的機能の回復との関連
論文審査委員	(主査) 教授 丸山 勝一 (副査) 教授 高倉 公朋, 笠島 武

論文内容の要旨

目的

本研究の目的は、脳血管障害後の精神機能のうち、知的機能に焦点を絞り、脳血管障害患者の運動機能と知的機能の回復との関連について検討を加えることにある。また、麻痺側別、病型(脳梗塞もしくは脳出血)の違い、失行の有無、および脳血管障害発症からリハビリテーション(以下リハ)開始までの期間の相違が、両者の回復に影響を与えるか否かについて検討を加えた。

対象と方法

対象はリハを施行した脳血管障害患者のうち、失語症のため知的機能の評価が不可能であった患者を除外した118名で、男性61名、女性57名、年齢は38~86歳であった。リハの前後において、運動機能の評価および知的機能の評価を行い、以下の2群に分けた。

I群：リハ前後において運動機能レベルが変化しなかった群

II群：リハ前後において運動機能レベルが改善した群

両群間において、長谷川式簡易痴呆スケール(以下HDS)の改善度を検討した。また、麻痺側別、病型、失行の有無、失認の有無、脳血管障害発症からリハ開始までの期間(発症4カ月以内もしくは4カ月以降)の各項目毎に両群間のHDSの改善度を検討した。運動機能の評価は「二木の自立度」に従って4段階に分類評価した。

結果および考察

1. 脳血管障害患者では、運動機能の回復と知的機能

の回復は、推計学的に有意な正の相関を認めた。なお、脳梗塞患者と比較し、脳出血患者のリハ前後の各回復値の差が、より大であった。

2. 麻痺側別の検討では、右片麻痺患者にのみ運動機能と知的機能の回復に関して、推計学的に有意な正の相関がみられた。これは、重度の失語を合併した右片麻痺患者が除外されたこと、知的機能の評価として、言語性知的能力を反映するHDSを用いたためと推測される。

3. 脳血管障害発症からリハ開始までの期間が、4カ月以内および4カ月以降の2群で比較すると、同じく運動機能と知的機能の回復に関して、ともに推計学的に有意な正の相関が認められ、また、発症4カ月以内にリハを開始した患者群で、最終の回復の程度がより大きく、この時期にリハを開始することが、良好な予後を得るために重要と考えられた。

結論

脳血管障害発症後の運動機能と知的機能とは、並行に回復する可能性と早期リハ開始の重要性が示唆された。

論文審査の要旨

脳血管障害後の運動機能の回復の程度が知的機能の回復の程度に影響を与えるか否かについて従来からその可能性が指摘されていたが、多数例による検討結果の報告は少ない。

本論文は、リハビリテーションを行った脳血管障害患者118例についてリハビリテーション前後の運動機能と知的機能とを評価して夫々比較し、運動機能の回復と知的機能の回復とが有意に相関すること、脳出血群が脳梗塞群に比して回復の程度が大であること、発症から4カ月以内にリハビリテーションを開始した群では4カ月以後にリハビリテーションを開始した群に比較して最終の回復の程度がより良好であることを夫々明らかにし、リハビリテーションの早期開始が脳血管障害の運動機能と知的機能の予後を並行して良好ならしめることを初めて指摘したもので、学術上価値ある論文である。

主論文公表誌

脳血管障害患者の運動機能の回復と知的機能の回復との関連

東京女子医科大学雑誌 第63巻 第5号
489-496頁(平成5年5月25日発行) 佐藤真奈美

副論文公表誌

- 1) 鍼治療により横断性脊髄障害を呈した1例. 臨神経 31 (7) : 717-719 (1991) 佐藤真奈美, 山根清美, 江島光彦, 杉下裕子, 野崎洋文
- 2) MELAS (mitochondrial encephalomyopathy with lactic acidosis and strokelike episodes) の strokelike episode の経過中, 一過性に PSD および PLEDs を呈した一症例. 臨脳波 31 (5) : 349-352 (1989) 佐藤真奈美, 山根清美, 柴垣泰郎, 柴田興一
- 3) D-penicillamine により症状が著明に改善したパーキンソン病の2例—特に血清銅, ceruloplasmin が軽度低値を呈する例における検討—. 神治療 9 (6) : 555-559 (1992) 佐藤真奈美, 山根清美, 大沢 裕, 田中久恵, 白田明子, 長山 隆, 丸山勝一
- 4) 頭部 CT scan により病巣が確認された Benedikt 症候群の1例. 東女医大誌 59 (6) : 315-318 (1989) 佐藤真奈美, 山根清美, 小森隆司, 長山 隆, 小林逸郎, 丸山勝一
- 5) 頸部の造影 CT にて内頸動脈内血栓が認められた脳梗塞の1例. 太田病年報 26 : 23-26 (1991) 佐藤真奈美, 山根清美, 長山 隆, 白田明子, 田中久恵, 大沢 裕, 佐藤善二